

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 神奈川やすらぎ会

【 目 次 】

各部門		
1	特別養護老人ホーム 森の里	2
2	通所介護・通常規模型 森の里	5
3	管理・営繕部門	6
4	特別養護老人ホーム 第二森の里	7
5	居宅介護支援 森の里	11
6	小鮎・緑ヶ丘 地域包括支援センター	12
7	みらくる保育園	13
8	総務部門	16
9	厨房部門	17
各委員会		
11	研修委員会（森の里）（第二森の里）	18
12	防災委員会（森の里）（第二森の里）	20
13	衛生対策委員会（森の里）（第二森の里）	21
14	人権擁護委員会（森の里）（第二森の里）	22
稼働率		
15	特別養護老人ホーム森の里 2期比較	
16	特別養護老人ホーム第二森の里 2期比較	
17	森の里・第二森の里特養 要介護度別 2期比較	
18	通所介護 曜日別利用 2期比較	

1、実施報告

- ①行事は中止や延期などもありましたが、感染対策を行いながら、規模を縮小しコロナ禍でありながらも施設内で楽しみを持って頂く事ができました。
- ②園芸クラブを開設しましたが、場所などの課題がありました。
- ③事故発生が多かったですが、情報を共有し再発防止に努めていきました。

【相談員】

制限がある生活の中でご利用者が、その人らしく生活していただけるようご利用者の自己選択や自己決定を尊重し、サービスにつなげられるよう支援を行えました。また、ご利用者やご家族の要望、相談を他セクションと協力して解決に取り組みました。

【介護支援専門員】

ご利用者の思いを尊重したケアマネジメントを実施し、適切なアセスメントからケアプランを作成することに努めました。また、自立への支援とその人らしい生活の実現のため、ご家族や関係者、スタッフで連携して支援することができました。

【短期入所】

- ・多数の事業所及びご家族から施設の開放的な雰囲気が評価されご利用いただいています。要望は真摯に受け止め改善に向けて会議等で検討しました。
- ・利用終了後に体調の変化やいつもと違う様子についてはご家族、介護支援専門員に報告し信頼関係の構築に努めました。

【医 務】

- ・コロナ禍において感染対策対応に費やし、可視化した機能訓練への取り組みまではできませんでしたが、日々のADL維持のために個別に訓練を介護職員と相談しながら取り組むことに努めました。
- ・看取りに関して、研修参加や伝達研修にて理解を深め、ご利用者一人ひとりに応じたケアを提供することができました。
- ・新型コロナウイルス感染症における施設内での対応は随時行い、早期の対応にて感染拡大防止に努めることができました。

2、研修

- | | |
|------|--|
| 内部研修 | 認知症研修・看取り研修・感染症研修・事故防止研修・虐待と拘束研修
介護技術研修(オムツの上手な当て方)・栄養補助食品(エンシュア) |
| 外部研修 | 体にやさしい介助入門(移動動作・床上動作)・排泄ケアの知識と実践
介護福祉試験対策講座 |

3、年間行事報告

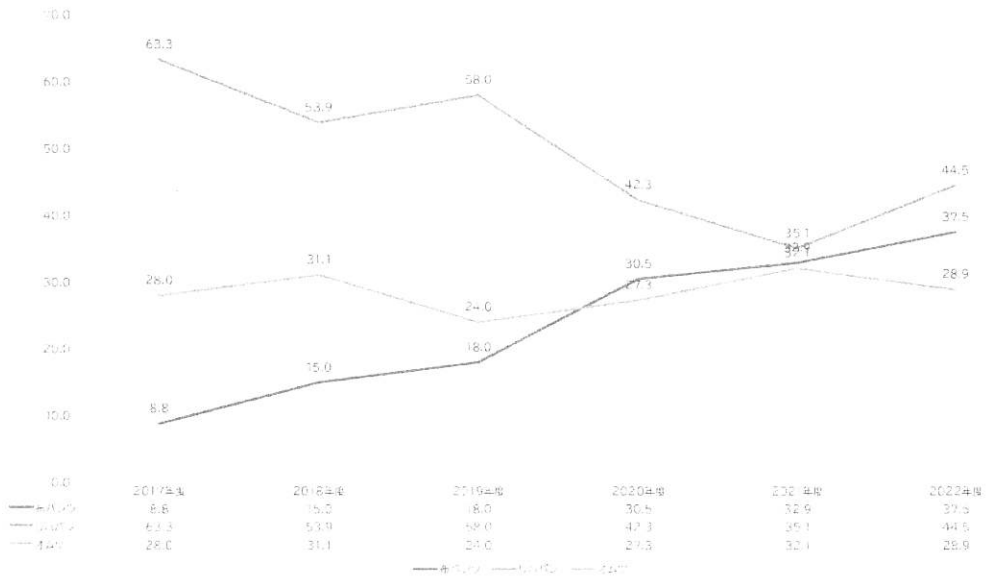
4月	お花見	10月	
5月		11月	
6月		12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	祝い膳
8月	夏祭り	2月	節分
9月	ふれあい祭り	3月	ひな祭り

4、クラブ計画

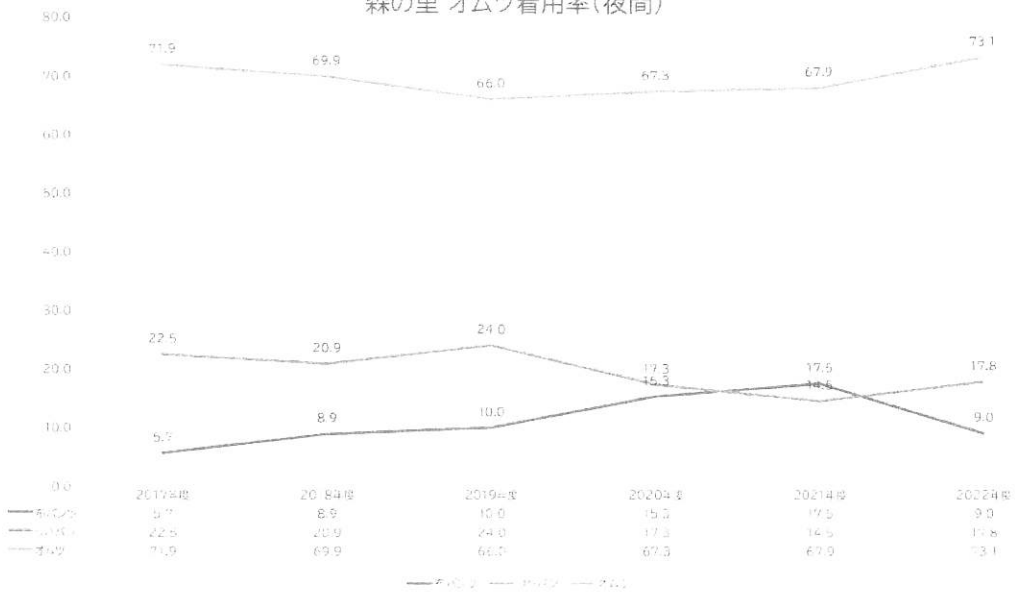
書道クラブ（毎週月曜日） ・華道クラブ（第二、第四木曜日）園芸クラブ

5、おむつ着用率 これまでの推移（次ページ）

森の里 オムツ着用率(日中)



森の里 オムツ着用率(夜間)



1、実施報告

- ①個別機能訓練では、新型コロナウイルス感染症予防の為、人数制限や実施前の手指消毒、使用機器の消毒に努め実施しました。
行事では、施設内でのお花見やレクリエーション等、感染予防に取り組みながら実施しました。
- ②担当者会議など徐々に対面で行えるようになり、他事業所との連携も図りやすくなり密に状況報告等行うことができました。見学は、体操など実際に参加していただいて対応しました。
- ③感染予防に努め、レクリエーションの種類を増やし、作品作りや書道クラブなどご利用者が安心して楽しめるよう実施しました。
- ④外部研修への参加が消極的でした。

2、年間行事報告

4月	お花見	10月	
5月		11月	
6月		12月	クリスマス会
7月		1月	新年会
8月	夏祭り	2月	豆まき
9月		3月	

3、研修

- 6月 事故防止、身体拘束適正化、高齢者虐待、食中毒研修
- 11月 事故防止、身体拘束適正化、高齢者虐待、感染症研修
- 1月 認知症研修

1、実施報告

①車両管理と運用・送迎部門

- ・送迎車は多走行車が多いので、こまめに点検しオイル交換等を実施しました。
- ・新型コロナウイルス対応として、送迎時のN95マスクの着用、窓を開けての換気、エアコン使用時の外気導入を徹底しました。

②設備・営繕部門

- ・昨年度は新型コロナウイルスの影響で館内の清掃等が出来ない時期があったので、みらくる保育園については休園日の祝日を利用し行いました。
- ・草刈りや外部の高圧洗浄等は、年間を通して計画通りに実施出来ました。

2、研修・講習報告

6月	食中毒の研修
7月	事故防止・身体拘束適正化・高齢者虐待についての研修
8月	危険物取扱者保安講習
10月	安全運転管理者講習
11月	事故防止・身体拘束適正化・高齢者虐待についての研修
12月	福安全運転管理者講習 より良い人間関係を築くためのやさしい心理学の研修
2月	感染症の研修 ハラスメントについての研修
3月	認知症の研修

1、実施報告

- ①一人ひとりのケアの見直しをすることで個別性のあるケアを提供することに努めました。また新規ご利用者には、生活環境の変化が少なくなるよう聞き取りを行い、施設で不安なく過ごせるよう職員や他のご利用者との関係性が築けるように努めました。
- ②看取りケアではご利用者、ご家族の想いを大切に職員間で共有し他セクションで連携して看取りケアをすることができました。
- ③コロナウイルス感染状況に合わせて、オンライン研修や書面での回覧研修など感染リスクに考慮して研修を行いました。

【 1 階 】

- ・フロア状況からは理想とするユニットケアを実現できているとは言い難いと感じています。現在は職員間で、ユニット毎のケアではなくお互いのユニット間での声かけやフォローの心がけを意識しあえる環境に向かって努めています。
- ・看取りケアについては週1回カンファレンスを医務、相談員、介護職員、介護支援専門員等多職種と共に行い、素早い情報共有や対応の見直し等を行うことができました。

【 2 階 】

- ・レクリエーションとして、フロアや居室に飾る物を作成し外出制限があった中でも楽しみを作ることができました。
- ・看取り対応ご利用者のご家族が「母の背中を流してあげたい」と希望があり職員と一緒に入浴介助を行うことができ、喜んでいただきました。
- ・職員も感染予防に努め体調管理ができました。

【 3 階 】

- ・ユニットリーダーを配置することで居室担当もリーダーと意見交換し一人ひとりに寄り添ったケアができました。
- ・毎日の生活に不安が無いようコミュニケーションを大切に、レクリエーション等で楽しんで頂けるように努めました。
- ・看取りケアではご家族、他職種と情報共有し対応できました。ご家族と職員の交換日記等も行いました。

【相談員】

- ・ご家族に状態変化だけではなく、施設の様子や行事なども伝え、ご利用者が安心して過ごしていただけるように心がけました。また、ご家族との交流の少なかった中、担当者会議や面会時に、関係職員より直接日々の様子などを詳しく伝えることで、ご家族と信頼関係の構築に努めました。
- ・新規入居と、ご利用者の入院が重なり空室期間が続いてしまいました。短期入所担当者との情報の共有と、入退所の会議内容も視野を広げての見直しが必要と感じました。

【介護支援専門員】

- ・状態変化時だけではなく日々の様子についても面会時、毎月の手紙、電話連絡にて積極的にご家族に伝えることで、ご利用者やご家族の意向について話し合う機会が増え情報共有することができました。
- ・看取りケアでは事前の意向確認と段階に応じた状態説明を行い、ご利用者・ご家族の想いを職員間で共有して、他セクションと連携を図ることができました。

【短期入所】

- ・多数の事業所及びご家族から施設の開放的な雰囲気が評価されご利用いただいています。要望は真摯に受け止め改善に向けて会議等で検討しました。
- ・利用終了後に体調の変化やいつもと違う様子についてはご家族、介護支援専門員に報告し信頼関係の構築に努めました。

【医 務】

- ・11月末から1月のコロナクラスター発生に関して、3階の認知症対応フロアでは個室対応が困難で全体に拡がってしまいましたが、1階フロアに関しては早期の個室対応により、感染拡大を抑えることができました。
- ・看取り期のケアについて、コロナ禍ではあったが面会をしていました。それによって、ご利用者、ご家族にとっても望む最期に繋げることができたので、面会は効果的だったと感じています。入浴や食事、最期のケアをご家族と共に、思い出話をしながら実施することができ、ご家族の思いを知ることができました。

【洗濯・清掃】

- ・入居者に気持ち良く生活していただけるよう、清潔保持に努めました。
- ・衣類の紛失、洗濯方法の間違いがないよう確認の徹底をしました。
- ・定期的に各階フロア・居室・トイレワックスを実施しました。

2、行事

4月	お花見ドライブ	8月	夏祭り
9月	ふれあい祭り	10月	運動会
11月	秋の実り祭り	12月	クリスマス会・忘年会
1月	祝い膳	2月	節分

3、研修

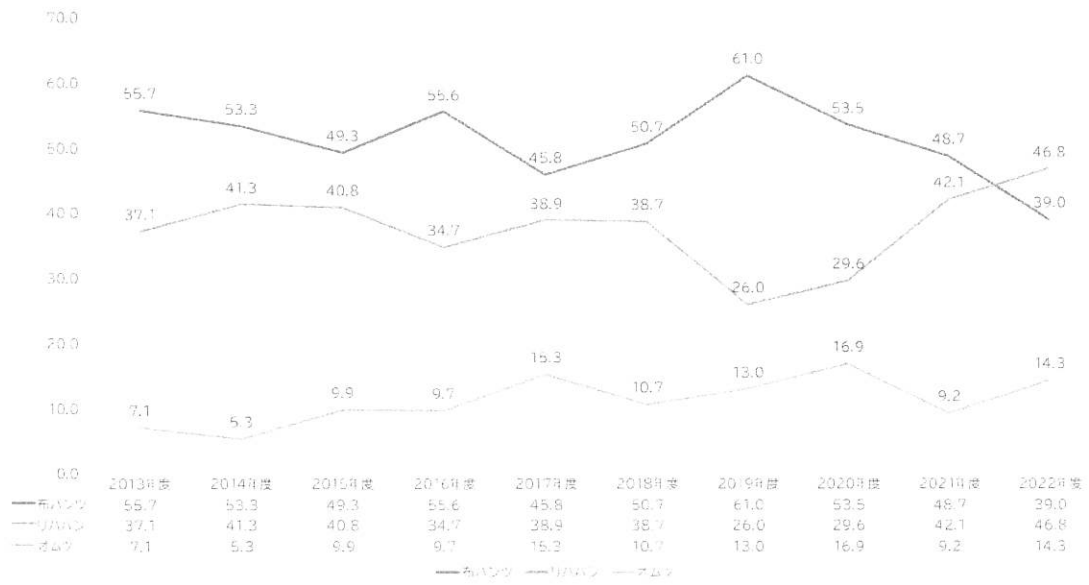
- 内部研修 4月新入社員研修・5月ハラスメント研修・6月身体拘束廃止
7月食中毒研修・9月感染症対策・11月身体拘束廃止
12月事故防止、危険予知トレーニング・2月ターミナルケア
3月事故防止・ハラスメント研修

外部研修

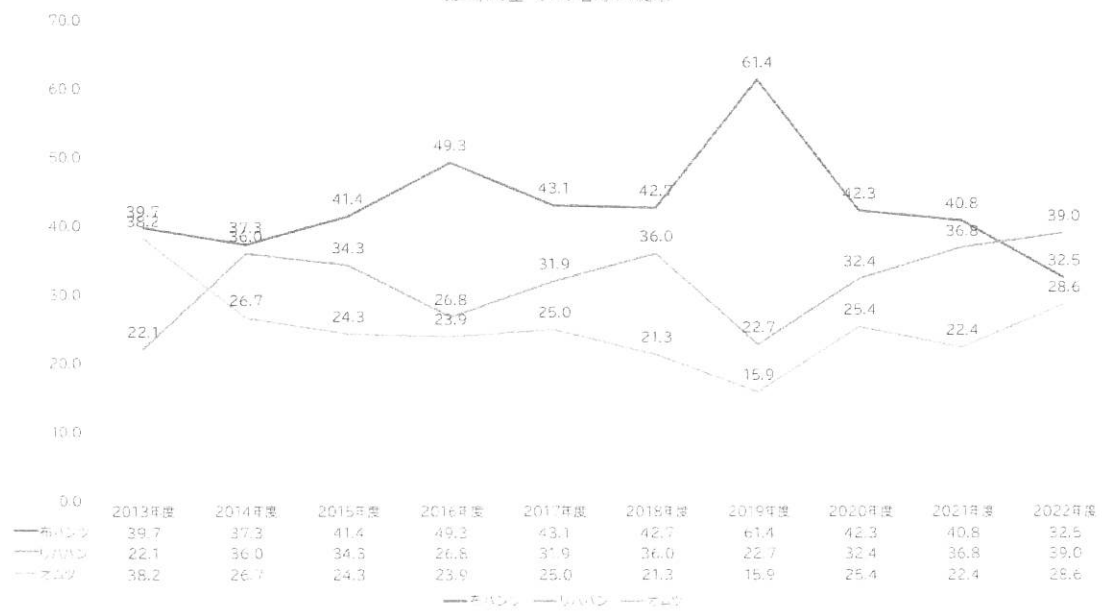
- ・ 5/17 「喀痰吸引研修」 山下
- ・ 6/ 2 「新入社員等防災体験研修」 伊藤・白井聖・白井ロサナ
- ・ 9/10 「ベトナムフェスタ」 ヒエン
- ・ 9/15 「安全対策体制加算対応研修会」 前野
- ・ 10/13～12/20 「介護支援専門員更新研修 56 時間」 前野
- ・ 10/17 「国際福祉機器展」 前野・鈴木裕・塩川・千葉・白澤
- ・ 12/ 5 「法人後見人を知る」 古屋
- ・ 2/ 9 「組織で取り組むクレーム対策」 川越
- ・ 1/27～7/7 「介護支援専門員実務研修」 福本
- ・ 3/ 7～3/30 「介護支援専門員更新研修 32 時間」 前野

4、オムツ着用率 これまでの推移（次ページ）

第二森の里 オムツ着用率(日中)



第二森の里 オムツ着用率(夜間)



1、実施報告

- ①コロナウイルス感染防止のため、引き続き対策を徹底し業務を行いました。また、感染が発生した場合は速やかに必要な関係者への連絡を行い、拡大防止に努めました。
- ②訪問診療を導入されるご利用者が増え在宅医療が推進されました。一方で退院の調整等は病院への立ち入り、面会制限がある中、情報を共有し連携を取りました。
- ③他法人の居宅介護支援事業所と事例検討を行い、ケースについて深く考え共有することができました。様々な視点からアプローチの重要性を再認識しました。
- ④計画的に研修会に参加しその後、会議で情報共有や共通理解ができるようにしました。

2、研修報告

5月	清川村地域ケア個別会議
6月	ACPをabcから始めよう 負担の少ない介護方法の再確認 地域連携共有会
7月	多職種連携研修（医療知識） 権利擁護支援センターの活用について
9月	包括支援センターの役割
10月	「ICTを利用した地域医療ネットワークmedical B.I.G. net®の活用について」 地域と福祉の融合
11月	エンド・オブ・ライフケア 訪問栄養を知ろう 他法人居宅介護支援事業所との事例検討会 障がい者のためのサービス
12月	法人後見を知る ～後見人の担い手を広げよう～
1月	ケアマネ部会研修「多職種でつなぐオーラルマネジメント」 医療知識「パーキンソン病」・「精神疾患」
2月	地域で暮らす精神障害の方の支援（Web） 事例から学ぶ成年後見人制度 ～ケアマネさんが主役～
3月	ケアラー、ヤングケアラー支援の現状と課題解決に向けて（Web） 看取りシリーズ研修会「グリーンケアの実践」 ケアプラン点検事業に係るオンライン報告会（Web）

介護支援専門員更新研修、認定調査員研修、施設内研修への参加

1、実施報告

- ①前年度に比べ、地域活動への参加や講話依頼の件数も増加してきました。感染防止対策の徹底とITの活用する事で安全に地域活動への参加ができました。
- ②地域ケア会議や民児協、協議体等を通じ地域住民や関係機関との連携を図る事ができました。
- ③総合には迅速に職員間で連携し対応する事ができました。必要時は関係機関の協力も受け、支援の介入をすることができました。
- ④対象者には定期訪問や電話連絡を行い、生活状況の確認をする事ができました。関係機関とも情報共有し状態悪化の予防に努めています。

2、年間行事報告

* 第二森の里体操教室、健康相談（緑ヶ丘・小鮎）、みな来るラジオ体操（毎月実施あり）

4月	カフェ in 結 体操教室、健康相談 包括便り春号発行	10月	包括便り秋号発行 台ミニデイ 宮の里グリーンタウンミニデイ
5月	体操教室、健康相談	11月	小鮎ボランティア研修 小鮎小学校認知症サポーター養成講座
6月	下古沢老人憩の家ミニデイ 体操教室、健康相談	12月	体操教室、健康相談
7月	小金原ミニデイ 包括便り夏号発行	1月	包括便り冬号発行 体操教室、健康相談
8月	体操教室、健康相談	2月	生協配食認知症サポーター養成講座
9月	宮の里カフェ 緑ヶ丘敬老の集い 尼寺憩の家ミニデイ	3月	白山集会所ミニデイ 体操教室、健康相談

3、研修報告

- 令和4年 6月 成年後見制度普及啓発講座
- 令和4年 9月 ヤングケアラー現状と支援課題（オンライン）
- 令和4年 9月 地域包括支援センターの役割
- 令和4年10月 認知症と共に生きる
- 令和4年11月 法テラス神奈川研修（オンライン）
- 令和4年12月 かながわ災害研修（オンライン）
- 令和5年 2月 精神疾患の基礎知識

1、実施報告

職員が定着してきたので、一人ひとりの保育の質向上の為、年間で8回の園内研修を行いBANDで動画を流すことで常勤、非常勤全員が受講できるようにしました。今回の研修で保育の細かいところが統一されたと考えられます。また、本年度から取り入れた伊勢原フォレストのコーチの体育指導は、子どもたちが毎週楽しみにしている保育内容となりました。体育指導後にコーチからその日の体育指導のねらいや指導の仕方を教えて貰うことで、コーチが来園する曜日以外も保育士が保育に取り入れ、子どもたちの能力は非常に向上しました。子どもたちは、出来るようになったことが増え、それが自信となり日々の生活も自信を持てるようになりました。職員も積極的に運動遊びを保育に取り入れるようになりました。

良い絵本の提供については、研修をし、年齢に応じた子どもに読み聞かせをしたい本や本の取り扱い方、本棚の整理の仕方などは意思統一出来たが、カリキュラム作成まではいきませんでした。また、森の里、第二森の里との交流は新型コロナ感染の広がりがあり交流することはできませんでした。

インスタグラムへの投稿は、毎日職員が代わる代わる行い配信することで、保護者からも園の様子を見ることが出来るなど評価をもらっています。求職者にも配信をしていることを伝え、園を知ってもらおう手立てとして使うことが出来ていると思います。

2、行事報告

4月	春の遠足：若宮公園(4.5歳児)中止 入園おめでとう会：2部制 内科健診 こどもの日集会：2部制	10月	運動会：クラス毎入れ替え制(3.4.5歳児) 保育参観：人数制限有(0.1.2歳) 内科健診
5月	親睦遠足：厚木農園(3.4.5歳児) 親子ふれあいデー：書面配付 歯科健診	11月	歯科健診 飯山地区ミニディ参加(5歳児) 歩け歩け遠足：飯山観音(3.4.5歳児) 個人面談(全保護者)1月末まで
6月	尿検査	12月	クリスマス会：2部制
7月	七夕まつり会：2部制 プール始まり：10人ずつで	1月	新春おめでとう会：2日分散 古式消防見学 交通安全教室：2部制 園外保育：本厚木カンツリークラブ
8月	夏のお楽しみ会：2部制	2月	豆まき集会

			親子体幹デー：入れ替え制 未病プログラム：横浜福祉専門学校学生来園
9月	プール終わり	3月	ひなまつり会：2部制 お別れ遠足・お別れ会 卒園式：人数制限有で実施

*誕生会は誕生日に行う。*避難訓練・身体測定は、毎月実施

3、行事評価

- ・各行事毎に職員が子どもたちの姿から、何をねらいどのような行事にしたいかを考えられるようになったことは、大きな変化です。しかし、その為に会議の時間が長くなりがちなので、会議に臨むための準備や会議の進め方を工夫していく必要があると感じます。
- ・夏のお楽しみ会、新春おめでとう会など子どもたちが自分の好きなコーナーを選択し遊ぶ行事を行ったことで、子どもたちが自分で遊びを選択する力がついてきました。コーナーの回り方も友達と誘い合ったり、前日にどのコーナーを回ろうか考えてくるなど期待を持って生活できるようになったことも成長を感じられました。

4、園児数推移 定員：120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	22	26	27	30	30	30	30	30	30	30	30	30
幼児	60	62	61	62	62	65	66	67	68	70	71	72
総数	82	88	88	92	92	95	96	97	98	100	101	102

今年度は、途中で常勤を採用できたことで0歳児クラスの園児を6名に増加することができました。しかし、その後は採用が思うようにいかず、1、2歳児クラスの園児増加はできませんでした。3歳児クラスは増加が大きく、開園して初めて102名の園児の確保をすることができました。

5、研修報告

4/1	法人新人研修 法人概要他	8/5	園内研修 絵本について
4/5	法人新人研修 4拠点見学他	9/8	園内研修 制作について
4/14	法人新進研修 虐待と身体拘束	9/16	まめの木研修
4/25	園内研修 基本的マナーについて	10/6	園外活動時の安全確保について
4/26	園長研修 労務管理	10/13	新任福祉・介護施設など職員行動交流・研修会
5/12	法人新人研修 配属先以外の現場研修	10/14	乳児期のアレルギー疾患と対応
5/14	保育子育て連続講座	10/24	園内研修 支援が必要な子の対応について
5/17	法人新人研修 ハラスメント	10/28	乳児期のアレルギー疾患と対応
5/23	法人新人研修 課外活動 中止	11/25	要保護・要支援児童受入れ保育所派遣型研修
5/30	園内研修 危機管理について	12/13	中堅職員合同交流・研修会
6/2	新人社員等防災体験研修会	12/16	アレルギー対応について
6/4	保育子育て連続講座	1/9	子どもの気になることを保護者に伝える技術
6/27	園内研修 衛生管理	1/20	架け橋プログラムの実現に向けて
6/29	まめの木探検	1/25	働き方改革説明会
7/7	園内研修 指導計画について他	1/29	冬の交流集会
7/16	子育て連続講座	2/1	ハラスメント研修
7/29	わくわくコミュニケーションのすすめ		
7/31	愛着障がいについて		

(研修評価)

昨年度から引き続きWeb研修が増えたことで、研修を受講する職員が増加しました。また、園内研修を年8回行い、その内容をBANDで配信したことで職員の質向上が見られました。

1、実施報告

- ①法人内のニーズを的確に把握し、職員の要望に迅速に対応することができました。
- ②毎週のPCR検査等感染予防対策に多方面から関わり情報の収集と発信を行いました。
- ③外国人技能実習生が円滑に技術を身に付けられるようサポートするとともに、今年度新規受け入れ実習生については、今までの経験と反省を基に、よりスムーズに対応することができました。
- ④介護保険請求業務においては、算定可能な加算を再確認するとともに、返戻事例等に迅速に対応し、処理することができました。
- ⑤物品の需要と供給のバランスを把握し発注数やタイミングを適切に判断することができました。また再生材を使用した物品を積極的に選択し資源の有効活用に努めました。
- ⑥助成金、補助金に関する情報収集と迅速な申請対応で、様々な助成金を取得することができました。
- ⑦森の里事務においては、第二森の里と連携し、事務処理を円滑に行うことができました。また、特養と連携しご利用者を直接的、間接的にサポートすることができました。
- ⑧資格取得に向け情報提供と支援を行い8名のうち7名が介護福祉士合格となりました。
- ⑨研修は集合型とオンラインと内容によって使い分け円滑に行うことができました。
- ⑩総合評価として、おおむね計画通りに業務を遂行することができました。

2、年間スケジュール〔報告〕

4月	・入社式 ・決算資料作成	10月	
5月		11月	・ノーマイカーデー ・生ごみ処理機設置補助金申請
6月	・令和4年度第1回理事会 評議員会、第2回理事会 ・職員健康診断(6/21, 30) ・かながわ認証取得	12月	・経産省節電プログラム促進事業参加 ・物価高騰対応支援金申請
7月	・東海大学交流会 ・特定求職者雇用助成金申請	1月	・職員健康診断(夜勤者) ・法定調書・給与支払報告書作成・提出 ・介護サービス提供体制確保事業補助金申請 ・特定求職者助成金申請
8月	・高齢者継続雇用奨励金申請	2月	・次年度予算資料作成 ・森の里・第二森の里 県指導監査 ・物価高騰対策交付金申請
9月	・かながわベトナムフェスタ	3月	・令和4年度第3回理事会 ・みらくる保育園 県指導監査

1、実施報告

- ①各セクションと連携を取り、食事形態の再確認、中止していた食事レクリエーションの再開が徐々にできるようになりました。
- ②食事提供での残菜は各階で増減差があるので、食事量・献立の見直しを図りました。
- ③ゴミの削減の為、ゴミサーを導入したことで生ゴミの廃棄量が以前に比べると半分量に減らすことができました。

2、年間行事食報告

4月		10月	
5月		11月	収穫祭
6月		12月	クリスマス会、年越し
7月	七夕	1月	祝い膳
8月	夏祭り	2月	
9月	ふれあいまつり	3月	ひなまつり

3、誕生日食対応報告

対応件数 182件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
森特養	9	3	5	1	4	3	4	6	5	7	4	3
森通所	8	6	6	4	1	1	9	4	2	5	4	6
第二森	2	7	3	8	3	5	8	5	7	4	7	13
合計	19	16	14	13	8	9	21	15	14	16	15	22

4、研修報告

- ・食中毒、感染症研修に参加

1、構成員

田嶋亜希子、南敬子、門倉千絵

2、実施報告

業務に必要な知識、技術等を習得出来るようコロナ渦での対応に合わせた研修計画を立て、実施し、より専門職としての確立を目指しました。

外部研修で学んだ知識の伝達研修を行い、施設内で共有しました。

BANDによるオンライン研修の実施、浸透化を目指しました。

日程調整等、委員で必要な情報を共有し、外部講師研修を実施しました。

3、年間スケジュール

4月	新任職員研修	オムツ研修
5月	食中毒研修	看取りケア（伝達）
6月	事故防止、身体拘束適正化、高齢者虐待	
8月	エンシュア研修	
11月	事故防止、身体拘束適正化、高齢者虐待	
2月	感染症研修	
3月	認知症研修	

4、総評

コロナ渦ではあるが必要な研修を計画通り行い、知識、技術の習得ができました。

外部から講師を招き、より専門職としての知識、技術の向上に繋がりました。

外部研修に参加した職員による伝達研修では職員で知識を共有でき、個々から提出されたレポートからも満足度の高い研修であった事が確認できました。

BANDにより第二森の里の研修内容の共有はできましたが、森の里からの発信、情報提供が次年度への課題と考えます。

人権擁護委員会主催のBANDによるオンライン研修で実施し、年度目標である浸透化を目指す事ができました。

1、構成員

成田裕世、根津由紀、原田雄史、山口亜矢子、佐藤美奈

2、実施報告

内部研修

開催月	研修名	開催方法	参加人数
4月	新人研修	集合	8名
6月	身体拘束廃止	動画視聴	92名
9月	感染症対策	集合	52名
11月	虐待防止	資料回覧	87名
12月	事故防止	集合	45名
2月	口腔ケア	資料回覧	44名
2月	看取りケア	集合	32名
3月	事故防止	資料回覧	65名
3月	ハラスメント防止	動画視聴	96名

外部研修

開催月	研修名	参加人数
4月	新入社員等防災体験研修	3名
5月	喀痰吸引研修 医療的ケア教員講習会	1名
7月	かながわ福祉研究大会（オンライン）	4名
9月	安全対策体制加算対応研修	2名
10月	国際福祉機器展視察	5名
12月	法人後見ネットワーク研修	2名
12月	高齢協厚愛地区主催心理カウンセラー講演会（オンライン）	11名
3月	介護支援専門員研修課程Ⅱ	1名
1～7月	神奈川県介護支援専門員実務研修	1名

3、総評

- ・コロナウイルスの影響で計画通りとはいかなかったが、開催方法の見直しを行い、円滑に研修を開催できるように努めました。
- ・フロア別で研修を行う等、受講後すぐに現場で活かせるような研修を工夫しながら実施することができました。
- ・内部研修の参加人数に対し外部研修の参加人数が少なく、積極的に参加を促す環境づくりが課題として残りました。

1、構成員

佐藤健一、古川沙織、濱田雪乃、橋本啓太、青木 繁、白井成奈

2、実施状況

6月 8日 大雨による土砂災害避難訓練

10月 6日 火災を想定した避難訓練（夜間想定・通報訓練） 実施

2月17日 地震・災害を想定した避難訓練 実施

3月 9日 消火器訓練 実施

3、その他

緊急連絡網更新実施、ヘルメット・懐中電灯点検実施、防災頭巾の虫干し

毎月：防火設備点検、備蓄庫点検実施 毎月第3木曜日 定例会議実施

4、総 評

年間計画に基づき、避難訓練は、コロナウイルスにより延期になることもありましたが、すべて実施することができました。

今年度は防災体験研修会への参加や、講師を招いての消火器訓練を行うことができました。

1、構成委員

防火管理責任者：西迫 哲 星野晃徳、赤間由梨、稲本清子、清水正人

2、実施状況

水害訓練 6月23日 大雨による浸水訓練

避難訓練 9月20日 地震・災害を想定した訓練（通報訓練・消火器訓練）

2月 6日 火災を想定した訓練（夜間・消火器訓練）

3、その他

緊急連絡網更新実施、ヘルメット・懐中電灯点検実施

毎月：防火設備点検、備蓄庫点検実施 毎月1回 定例会議実施

4、総 評

年間計画に基づき、義務である避難訓練は、夜間想定訓練が新型コロナ感染の為、延期しましたが、他の訓練は概ね予定通り実施することができました。

新型コロナウイルス感染症により厚木防災センターでの災害訓練については、感染者数増加に伴い実施は見送り、次年度においても感染状況から随時実施判断していくことが想定されます。

1、構成委員

西迫哲・小林秀也・門倉千絵・岩崎佑里・阪口百恵・志賀優美・橋本啓太
丹羽涼・栗原真理・勝沼コズエ・神崎りえ

2、実施報告

- ①研修を通して感染対策におけるスキル・手技の見直しを行うことができました。
 - ②新型コロナウイルス感染症のクラスター発生時のシミュレーションを動画にて配信、来年度の実務研修へと繋げることができました。
- また、研修を通して理解不足の点や不安な点を見出し確実に実施できるように伝達することができました。

3、活動報告

4月	食中毒研修(5月実施)
7月	施設内環境整備 衛生面・消毒方法の徹底
10月	ノロウイルス・インフルエンザ予防対策伝達
1月	新型コロナウイルス感染症研修(動画配信)

1、構成委員

西迫初美 圓福るり子 前野雄也 古屋明子 川越直美 横山恵美 大瀧亜希奈
白澤亮 芦田美幸

2、総 評

- ・3ヶ月に1回の定例会議を実施するとともに、コロナ陽性者が出た際は臨時の会議を実施し早期解決にむけて対策を講じました。また、BANDアプリやZOOMを活用し、リアルタイムで情報共有を行い、現場に居なくても相談や指示出しができるような体制を構築することができました。
- ・館内放送で換気や消毒の徹底の協力を促し、職員だけでなくご利用者も一緒になって施設全体で予防策に取り組むことができました。
- ・クラスターが発生した際、保健福祉事務所、県クラスター班と情報共有し、両嘱託医の指導のもと終息にむけ拡大防止策に努めました。

1、構成委員

管理者：西迫哲

小林秀也・丹羽涼・岩崎佑里・阪口百恵・渡邊啓子・門倉千絵・橋本啓太

澤田由里子・仲亀和子・今出美樹

2、総 評

事故報告書の用紙の統一、記入の仕方を見直し原因分析を重要視した記入を心がける様にBANDにて研修を行いました。

高齢協の事故防止研修資料、神戸市高齢協虐待防止介護者研修映像などを、元にBANDにて研修を行い日々の介護に繋げることができました。

人権擁護委員会(第二森の里)

1、構成委員

西迫初美 前野雄也、古屋明子、加藤沙亜耶、橋本圭子、鈴木崇之

2、総 評

- ・ヒヤリハットは、フロア会議で件数や要因に関して報告し、情報共有を行いました。
- ・事故集計データを人権擁護委員会会議で毎月、報告し、再発防止策などに関して検討、議論を行いました。検討内容をフロア会議にて報告しました。
- ・年度初めに比べ、徐々にヒヤリハット件数の報告数が伸び、どのような事がヒヤリハットとしてあげるべきものなのかを検討し、事故の再発防止に努めました。
- ・グレーゾーンの理解を深め、各職員に伝達しグレーゾーンを無くす取り組みをしました。
- ・ヒヤリハット、事故発生時には早急にパソコンに打ち込み、申し送りにて各職員にすぐに伝達できるようにしました。また、議論が必要な件には会議を待たず、早急な改善策を考え、対応しました。
- ・研修は、人権擁護委員会、研修委員会の者が率先して情報を集め、各職員に伝達できるものを実施しました。

森の里

【 令和3年度 】

森の里	入居者			短期入所			合計		
	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率
4月	1,486	14	99.07%	105	75	58.33%	1,591	89	94.70%
5月	1,543	7	99.55%	126	60	67.74%	1,669	67	96.14%
6月	1,500	0	100.00%	120	60	66.67%	1,620	60	96.43%
7月	1,550	0	100.00%	144	42	77.42%	1,694	42	97.58%
8月	1,526	24	98.45%	148	38	79.57%	1,674	62	96.43%
9月	1,463	37	97.53%	159	21	88.33%	1,622	58	96.55%
10月	1,523	27	98.26%	143	43	76.88%	1,666	70	95.97%
11月	1,488	12	99.20%	126	54	70.00%	1,614	66	96.07%
12月	1,517	33	97.87%	149	37	80.11%	1,666	70	95.97%
1月	1,487	63	95.94%	142	44	76.34%	1,629	107	93.84%
2月	1,350	50	96.43%	133	35	79.17%	1,483	85	94.58%
3月	1,539	11	99.29%	136	50	73.12%	1,675	61	96.49%
合計	17,972	278	98.48%	1,631	559	74.47%	19,603	837	95.91%

【 令和4年度 】

森の里	入居者			短期入所			合計		
	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率
4月	1,472	28	98.13%	138	42	76.67%	1,610	70	95.83%
5月	1,505	45	97.10%	159	27	85.48%	1,664	72	95.85%
6月	1,443	57	96.20%	161	19	89.44%	1,604	76	95.48%
7月	1,540	10	99.35%	161	25	86.56%	1,701	35	97.98%
8月	1,518	32	97.94%	202	▲16	108.60%	1,720	16	99.08%
9月	1,490	10	99.33%	157	23	87.22%	1,647	33	98.04%
10月	1,550	0	100.00%	167	19	89.78%	1,717	19	98.91%
11月	1,471	29	98.07%	149	31	82.78%	1,620	60	96.43%
12月	1,550	0	100.00%	157	29	84.41%	1,707	29	98.33%
1月	1,494	56	96.39%	176	10	94.62%	1,670	66	96.20%
2月	1,340	60	95.71%	146	22	86.90%	1,486	82	94.77%
3月	1,539	11	99.29%	161	25	86.56%	1,700	36	97.93%
合計	17,912	338	98.15%	1,934	256	88.31%	19,846	594	97.09%

第二森の里

【 令和3年度 】

第二森の里	入居者			短期入所			合計		
	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率
4月	2,150	70	96.85%	461	139	76.83%	2,611	209	92.59%
5月	2,117	177	92.28%	539	81	86.94%	2,656	258	91.15%
6月	2,091	129	94.19%	527	73	87.83%	2,618	202	92.84%
7月	2,209	85	96.29%	560	60	90.32%	2,769	145	95.02%
8月	2,176	118	94.86%	554	66	89.35%	2,730	184	93.69%
9月	2,141	79	96.44%	530	70	88.33%	2,671	149	94.72%
10月	2,226	68	97.04%	563	57	90.81%	2,789	125	95.71%
11月	2,158	62	97.21%	554	46	92.33%	2,712	108	96.17%
12月	2,264	30	98.69%	520	100	83.87%	2,784	130	95.54%
1月	2,162	132	94.25%	521	99	84.03%	2,683	231	92.07%
2月	1,975	97	95.32%	520	40	92.86%	2,495	137	94.79%
3月	2,087	207	90.98%	665	▲45	107.26%	2,752	162	94.44%
合計	25,756	1,254	95.36%	6,514	786	89.23%	32,270	2,040	94.05%

【 令和4年度 】

第二森の里	入居者			短期入所			合計		
	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率	利用	空ベッド	稼働率
4月	2,237	163	93.21%	375	45	89.29%	2,612	208	92.62%
5月	2,355	125	94.96%	416	18	95.85%	2,771	143	95.09%
6月	2,247	153	93.63%	345	75	82.14%	2,592	228	91.91%
7月	2,247	233	90.60%	417	17	96.08%	2,664	250	91.42%
8月	2,365	115	95.36%	482	▲48	111.06%	2,847	67	97.70%
9月	2,284	116	95.17%	421	173	70.88%	2,705	289	90.35%
10月	2,385	95	96.17%	476	▲42	109.68%	2,861	53	98.18%
11月	2,328	72	97.00%	452	▲32	107.62%	2,780	40	98.58%
12月	2,267	213	91.41%	294	140	67.74%	2,561	353	87.89%
1月	2,306	174	92.98%	497	▲63	114.52%	2,803	111	96.19%
2月	2,133	107	95.22%	397	▲5	101.28%	2,530	102	96.12%
3月	2,440	40	98.39%	428	6	98.62%	2,868	46	98.42%
合計	27,594	1,606	94.50%	5,000	284	94.63%	32,594	1,890	94.52%

【 令和3年度 】

森の里

毎月1日付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均人数	平均割合
施設 入 所	要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00%
	要介護 2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	30	2.50	5.04%
	要介護 3	23	23	22	22	21	20	21	21	20	19	17	17	246	20.50	41.34%
	要介護 4	13	13	13	13	15	15	15	13	14	16	16	16	172	14.33	28.91%
	要介護 5	11	11	12	12	12	12	12	14	14	12	12	13	147	12.25	24.71%
合計		50	50	50	50	50	49	50	50	50	49	48	49	595	49.58	100.00%
合計	要介護平均	3.64	3.64	3.68	3.68	3.74	3.76	3.74	3.78	3.80	3.78	3.77	3.80	3.73	49.58	100.00%

【 令和4年度 】

毎月1日付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均人数	平均割合
施設 入 所	要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00%
	要介護 2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	26	2.17	4.38%
	要介護 3	17	18	17	18	19	20	19	19	18	18	18	18	219	18.25	36.87%
	要介護 4	15	16	15	14	15	16	17	17	19	18	19	18	199	16.58	33.50%
	要介護 5	14	13	14	14	12	12	12	12	11	12	12	12	150	12.50	25.25%
合計		49	50	49	49	48	50	50	50	50	50	50	49	594	49.50	100.00%
合計	要介護平均	3.82	3.78	3.82	3.80	3.77	3.76	3.78	3.78	3.78	3.80	3.84	3.84	3.80	49.50	100.00%

【 令和3年度 】

第二森の里

毎月1日付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均人数	平均割合
施設 入 所	要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00%
	要介護 2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	30	2.50	5.04%
	要介護 3	23	23	22	22	21	20	21	21	20	19	17	17	246	20.50	41.34%
	要介護 4	13	13	13	13	15	15	15	13	14	16	16	16	172	14.33	28.91%
	要介護 5	11	11	12	12	12	12	12	14	14	12	12	13	147	12.25	24.71%
合計		50	50	50	50	50	49	50	50	50	49	48	49	595	49.58	100.00%
合計	要介護平均	3.64	3.64	3.68	3.68	3.74	3.76	3.74	3.78	3.80	3.78	3.77	3.80	3.73	49.58	100.00%

【 令和4年度 】

毎月1日付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均人数	平均割合
施設 入 所	要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00%
	要介護 2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	26	2.17	4.38%
	要介護 3	17	18	17	18	19	20	19	19	18	18	18	18	219	18.25	36.87%
	要介護 4	15	16	15	14	15	16	17	17	19	18	19	18	199	16.58	33.50%
	要介護 5	14	13	14	14	12	12	12	12	11	12	12	12	150	12.50	25.25%
合計		49	50	49	49	48	50	50	50	50	50	50	49	594	49.50	100.00%
合計	要介護平均	3.82	3.78	3.82	3.80	3.77	3.76	3.78	3.78	3.78	3.80	3.84	3.84	3.80	49.50	100.00%

稼働率 2期比較 デイサービス 曜日別

【 令和3年度 】

B型	月			火			水			木			金			土			合 計		
	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率
4月	125	3	97.66%	110	18	85.94%	110	18	85.94%	134	26	83.75%	145	15	90.63%	91	37	71.09%	715	117	85.94%
5月	141	19	88.13%	102	26	79.69%	108	20	84.38%	103	25	80.47%	109	19	85.16%	111	49	69.38%	674	158	81.01%
6月	113	15	88.28%	128	32	80.00%	120	40	75.00%	100	28	78.13%	96	32	75.00%	89	39	69.53%	646	186	77.64%
7月	114	14	89.06%	95	33	74.22%	90	38	70.31%	126	34	78.75%	114	46	71.25%	104	56	65.00%	643	221	74.42%
8月	132	28	82.50%	114	46	71.25%	95	33	74.22%	101	27	78.91%	87	41	67.97%	84	44	65.63%	613	219	73.68%
9月	104	24	81.25%	102	26	79.69%	121	39	75.63%	122	38	76.25%	87	41	67.97%	80	48	62.50%	616	216	74.04%
10月	106	22	82.81%	106	22	82.81%	94	34	73.44%	113	15	88.28%	122	38	76.25%	100	60	62.50%	641	191	77.04%
11月	132	28	82.50%	133	27	83.13%	93	35	72.66%	108	20	84.38%	100	28	78.13%	88	40	68.75%	654	178	78.61%
12月	102	26	79.69%	107	21	83.59%	118	42	73.75%	108	52	67.50%	86	74	53.75%	81	47	63.28%	602	262	69.68%
1月	114	46	71.25%	111	17	86.72%	91	37	71.09%	106	22	82.81%	97	31	75.78%	86	74	53.75%	605	227	72.72%
2月	97	31	75.78%	98	30	76.56%	85	43	66.41%	104	24	81.25%	92	36	71.88%	87	41	67.97%	563	205	73.31%
3月	106	22	82.81%	129	31	80.63%	111	49	69.38%	132	28	82.50%	90	38	70.31%	83	45	64.84%	651	213	75.35%
合計	1,386	278	83.29%	1,335	329	80.23%	1,236	428	74.28%	1,357	339	80.01%	1,225	439	73.62%	1,084	580	65.14%	7,623	2,393	76.11%

【 令和4年度 】

B型	月			火			水			木			金			土			合 計		
	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率	利用者数計	不足	稼働率
4月	107	21	83.59%	102	26	79.69%	106	22	82.81%	98	30	76.56%	122	38	76.25%	104	56	65.00%	639	193	76.80%
5月	136	24	85.00%	124	36	77.50%	106	22	82.81%	97	31	75.78%	105	23	82.03%	82	46	64.06%	650	182	78.13%
6月	108	20	84.38%	95	33	74.22%	131	29	81.88%	136	24	85.00%	104	24	81.25%	86	42	67.19%	660	172	79.33%
7月	112	16	87.50%	95	33	74.22%	111	17	86.72%	114	14	89.06%	129	31	80.63%	106	54	66.25%	667	165	80.17%
8月	116	44	72.50%	103	57	64.38%	121	39	75.63%	104	24	81.25%	90	38	70.31%	61	67	47.66%	595	269	68.87%
9月	103	25	80.47%	94	34	73.44%	99	29	77.34%	139	21	86.88%	129	31	80.63%	75	53	58.59%	639	193	76.80%
10月	138	22	86.25%	90	38	70.31%	93	35	72.66%	105	23	82.03%	87	41	67.97%	94	66	58.75%	607	225	72.96%
11月	108	20	84.38%	100	60	62.50%	106	54	66.25%	100	28	78.13%	90	38	70.31%	67	61	52.34%	571	261	68.63%
12月	104	24	81.25%	80	48	62.50%	69	59	53.91%	136	24	85.00%	80	48	62.50%	66	62	51.56%	535	265	66.88%
1月	102	26	79.69%	78	50	60.94%	72	56	56.25%	100	28	78.13%	77	51	60.16%	66	62	51.56%	495	273	64.45%
2月	103	25	80.47%	99	29	77.34%	79	49	61.72%	103	25	80.47%	74	54	57.81%	73	55	57.03%	531	237	69.14%
3月	114	14	89.06%	102	26	79.69%	95	65	59.38%	127	33	79.38%	90	70	56.25%	72	56	56.25%	600	264	69.44%
合計	1,351	281	82.78%	1,162	470	71.20%	1,188	476	71.39%	1,359	305	81.67%	1,177	487	70.73%	952	680	58.33%	7,189	2,699	72.70%